

オープンデータ活用の現在と 市民自治力の向上

オープンデータは、公共性の高い情報、とくに公共機関が保有する情報を、原則として機械判読可能な状態で公開し、営利・非営利を問わず、その利用を可能とするものである。今日、地方自治体では、多くのデータポータルサイトが開設され、「オープンデータ」の利活用が進んでいる。関西では各地のCode for など、オープンデータの利活用をめざす市民やエンジニアの活動が広がり、全国的にもアイデアソンやハッカソンの取り組みが注目されるようになってきている。

本セミナーでは、このようなオープンデータの利用をめぐる動きに焦点をあて、地域の課題に取り組む市民によるオープンデータの活用と、同活用を通じた市民自治力の醸成・向上について考える。

講演・ディスカッション

「オープンデータの広がりと今後の課題 — 関西での活動を中心に —」

古崎 晃司 大阪大学産業科学研究所 准教授

「大阪市のオープンデータへの取り組み」

西川 肇 大阪市ICT戦略室 企画担当

「オープンデータの活用とオープンガバメント」

松井 修視 関西大学社会学部 教授

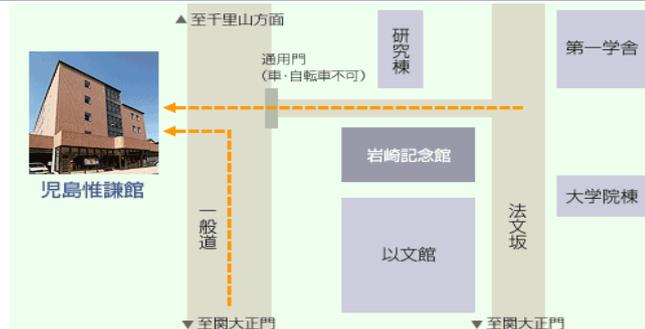
上田 一紀 関西大学大学院博士後期課程

司会

室田 信一 首都大学東京都市教養学部 准教授

日時: 2017年6月30日 (金)
14:30~17:00

場所: 関西大学千里山キャンパス
児島惟謙館2階 第2会議室



関西大学

関西大学 研究所事務グループ

〒564-8680 吹田市山手町3-3-35

TEL 06-6368-1179 / FAX 06-6339-7721

<http://www.kansai-u.ac.jp/Keiseiken/>